

CHODAI



株式会社長大(証券コード:9624)

# 会社概要

商号	株式会社 長大
本社	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号
資本金	31億750万円
設立	1968年2月
連結従業員数	1,530名（2020年9月30日現在）
上場取引所	東京証券取引所市場第一部（9624）
業種	サービス業（建設コンサルタント）



代表取締役社長

永谷 泰司

## 経営理念

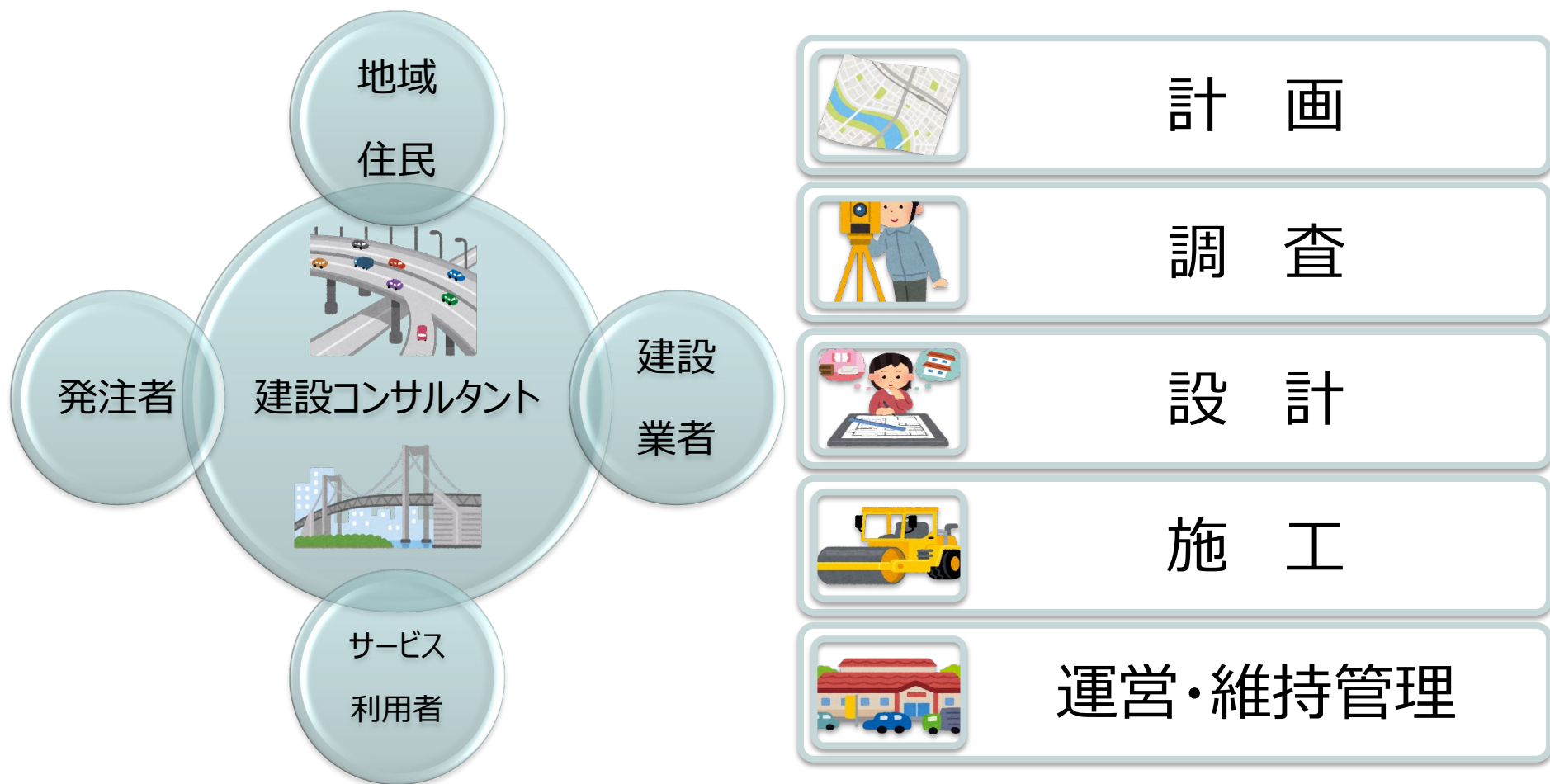


人・夢・技術

社員の創造性と、相互の信頼を育み、美しく、快適な地球環境づくりに邁進する世界の技術と頭脳の会社を創造する。

# 建設コンサルタントとは

建設コンサルタントは、橋梁・道路・鉄道等、社会インフラの整備・活用・持続へ総合的に  
関与しています。



# 長期経営ビジョン2030（2019年策定）



## 長大グループ 2030 目標値

売上高	600億円
営業利益	50億円 (営業利益率8.3%)
従業員数	約2,600人

成長

NEXT50の  
「夢」の  
実現へ

2030

NEXT50の「夢」の実現に  
向けたマイルストーン

長期経営ビジョン2030

長大グループが目指すべき姿と戦略

バックキャストで  
計画立案

第4中期フェーズ

第3中期フェーズ

第2中期フェーズ

第1中期フェーズ

現在

次期中期経営計画

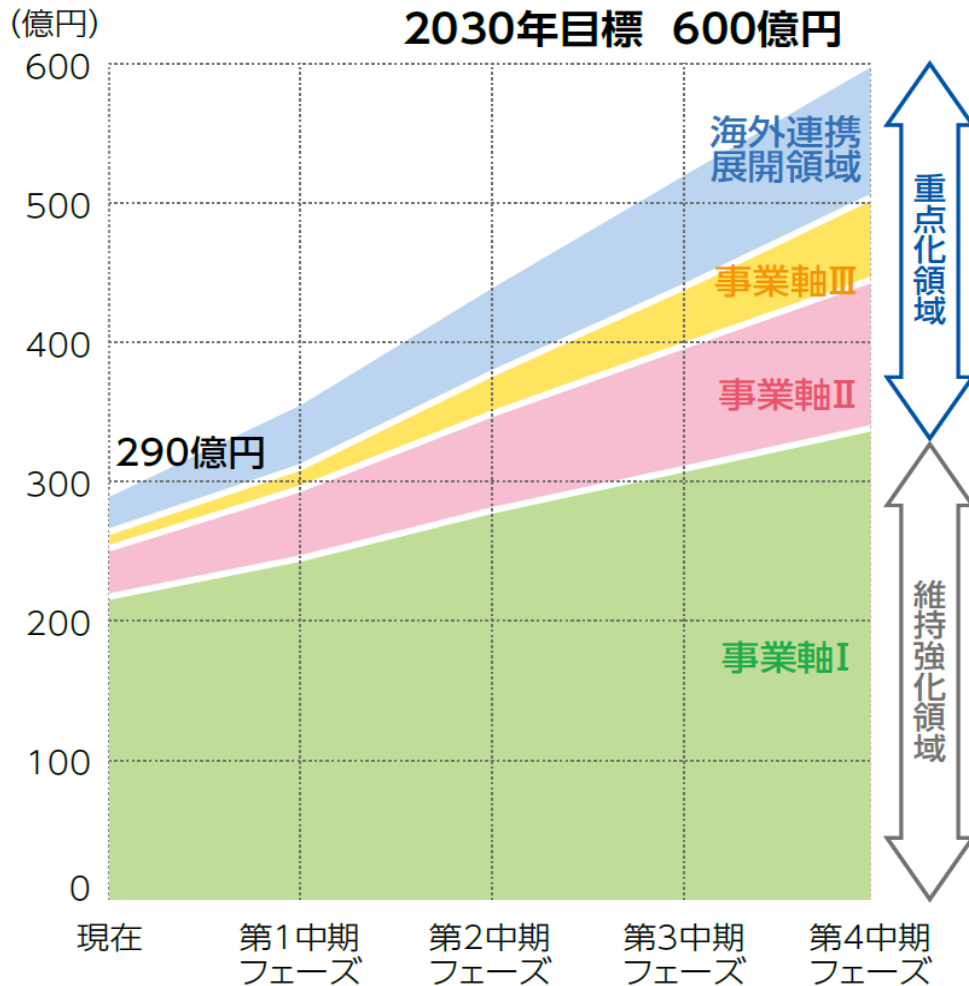
長期経営ビジョン2030を実現する  
ための具体的な計画と数値目標

売上高	290億円
営業利益	29億円 (営業利益率10.0%)
従業員数	約1,490人

52期末

将来

# 長期経営ビジョン2030で注力する事業



## 海外連携展開領域

- 橋梁・道路・鉄道・エネルギー

## 事業軸Ⅲ

- 地域創生分野

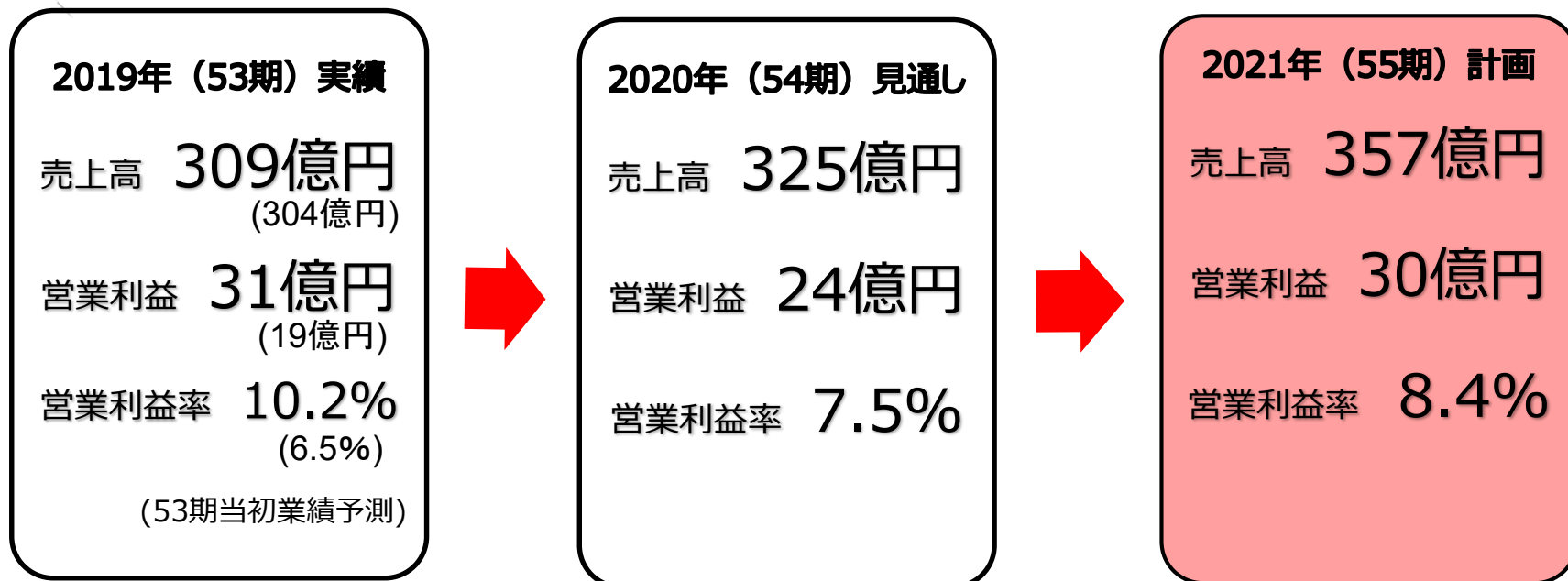
## 事業軸Ⅱ

- 環境・新エネルギー分野

## 事業軸Ⅰ

- 国土基盤整備・保全分野

# 持続成長プラン2019（中期経営計画）



## 主要施策と横断的な取り組み

事業軸Ⅰ 国土基盤整備・保全分野	基幹事業のさらなる強化と河川、防災分野への事業拡大 国内未開拓エリア・顧客・業種における受注力強化
事業軸Ⅱ 環境・新エネルギー分野	環境事業の強化 再生可能エネルギー事業の基盤づくり
事業軸Ⅲ 地域創生分野	新たなまちづくり事業の基盤づくり
海外連携展開領域	構造および鉄道事業を中心とする主要事業の強化・育成 東南アジアにおける重点地域展開
横断的な取り組み	イノベーションとIT化への投資拡大 働き方改革とダイバーシティのさらなる推進 さらなる成長の基盤となる組織づくり

# 事業概要 令和2年7月豪雨（熊本）対応

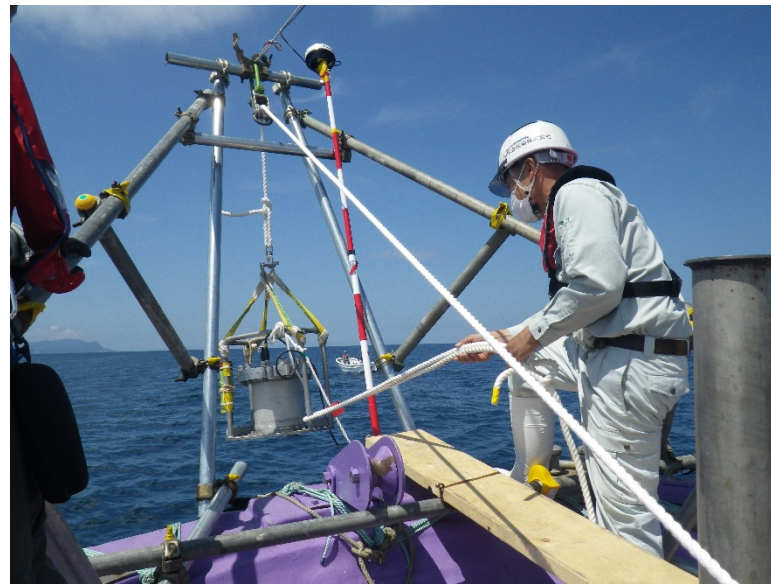
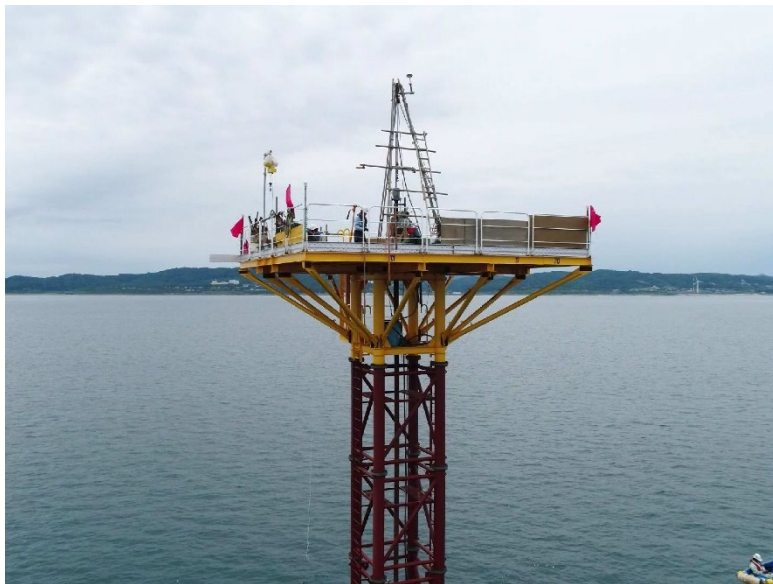
令和2年7月豪雨 災害復旧に対する初動対応に尽力



- 流失した橋梁の調査、流失を免れた橋梁の健全性確認、道路の啓開や応急復旧に対する資料作成、現地復旧作業の進捗確認等を実施

# 事業概要 洋上風力発電調査

洋上風力発電事業に新機材を導入し、一般海域調査に対応

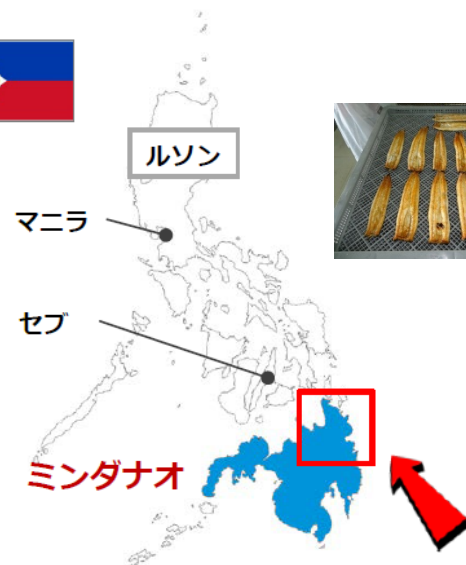


- 洋上風力発電事業は、港湾区域内から一般海域へ拡大
- 水深30m対応檣を新造、探査機器を共同開発



# 事業概要 フィリピンでの地域経済開発プロジェクト

## フィリピンのブトゥアン市周辺で展開するPPP事業



2011年に着手、現在展開する事業群



ウナギの養殖事業

エビの養殖事業

稲作・精米事業



フィリピン

面積：30万 km<sup>2</sup>  
人口：100 百万人

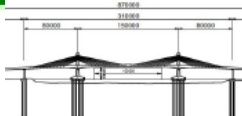
ミンダナオ島

面積：10万 k km<sup>2</sup>  
人口：22 百万人

バイオマス発電事業

太陽光発電事業

インフラ基礎調査



風力発電事業



アシガ川小水力発電事業

タギボ川小水力発電事業

上水供給事業



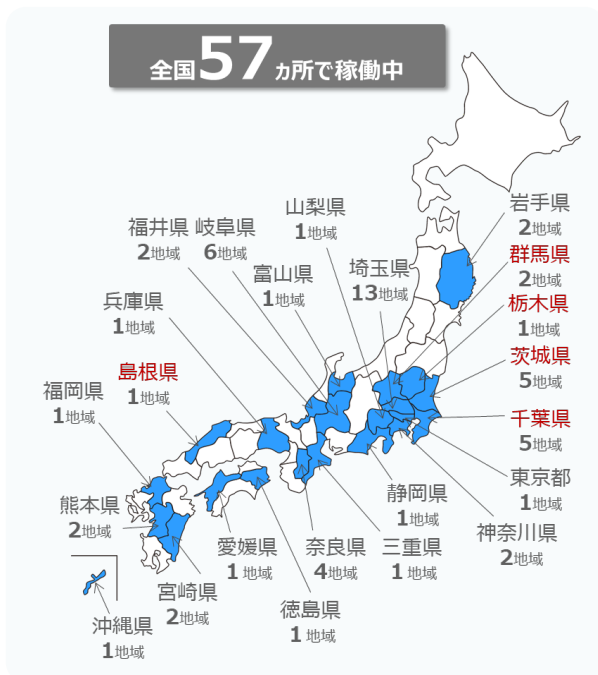
ワフ川小水力発電事業

工業団地開発事業



# 事業概要 オンデマンド交通システム「コンビニクル」

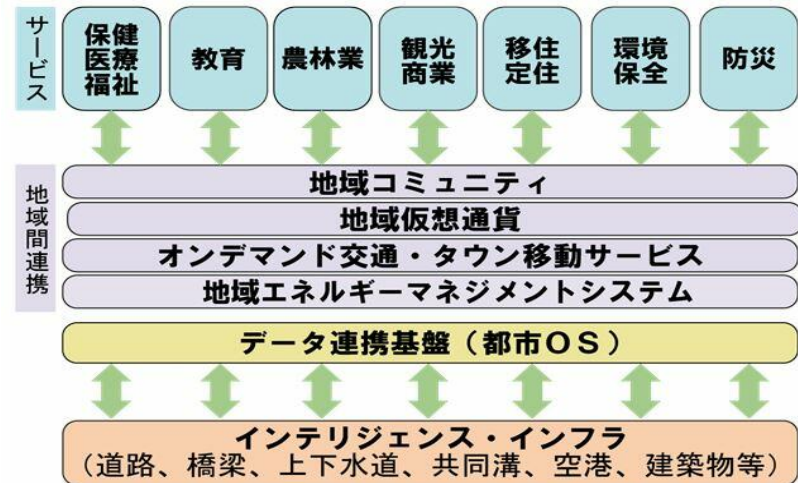
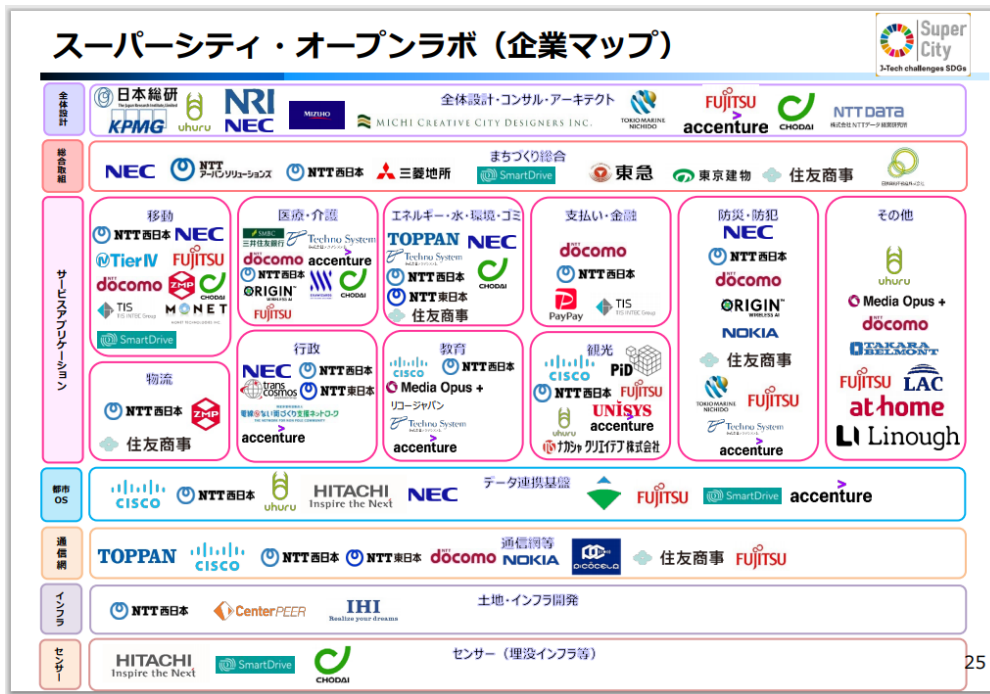
## オンデマンドバスシステムを利用した「コンビニクル」



- 「コンビニクル」は、オンデマンドバスシステムを利用した、地域公共交通の導入から運行までのパッケージ
- 毎日230台程の車両が運行、約9万人/月を運んでいる

# 事業概要 スーパーシティ構想

未来都市を実現する内閣府主催「スーパーシティ・オープンラボ」に加入



## 【長大タウン構想】

- スーパーシティ構想実現に取り組む全国の自治体を、技術的な側面からサポート
- 全国の自治体が目指す未来のまちづくりの実現を支援

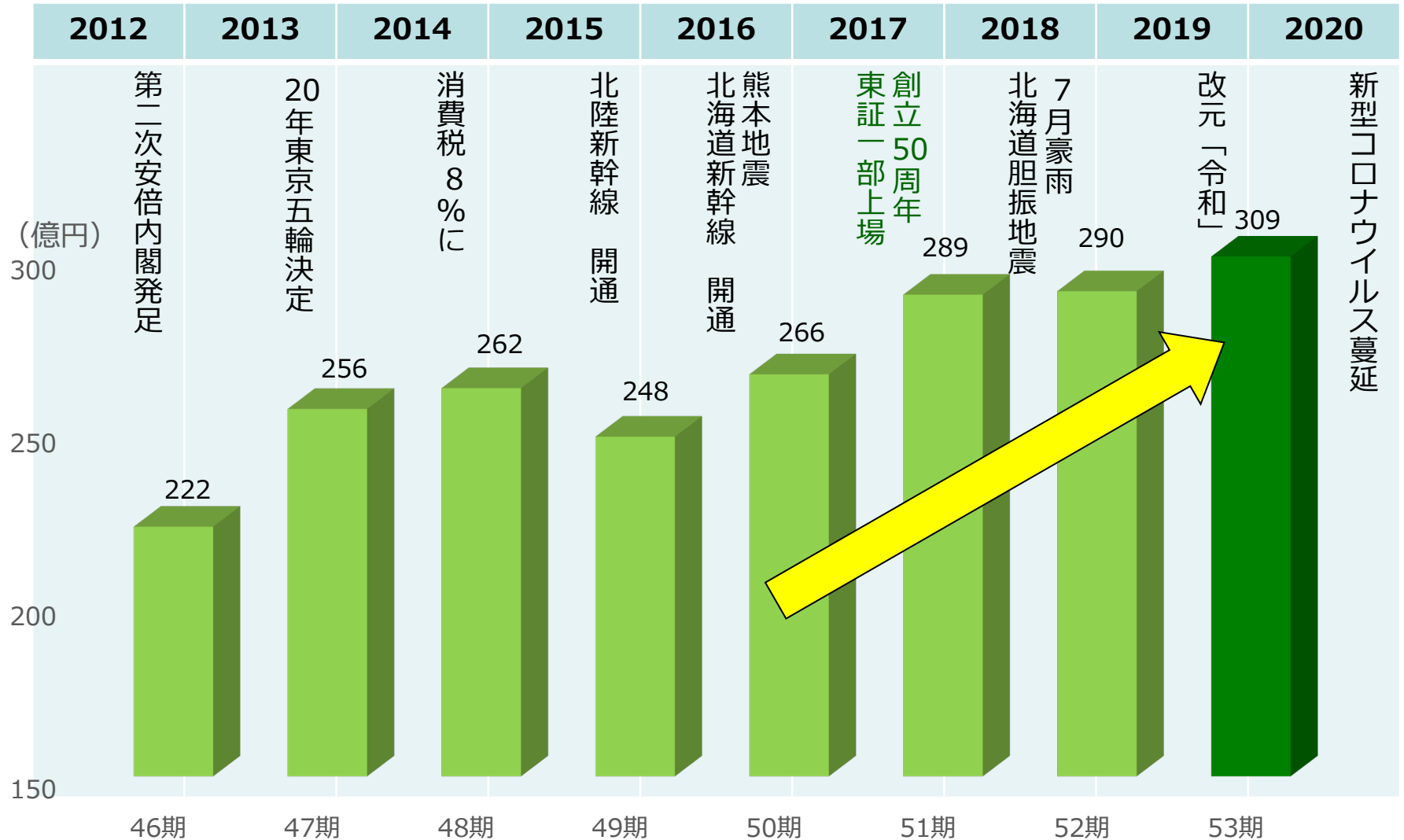
## 量子アニーリングによる配電網最適化特許取得



- 将来の効率的な電力マネジメントに向けて、電力ロスを最小化する配電網の作成方法に関する特許
- 次世代電力網効率化事業へ向け研究の開始

# 連結業績・配当の推移（売上高）

## 売上高の推移と主な出来事

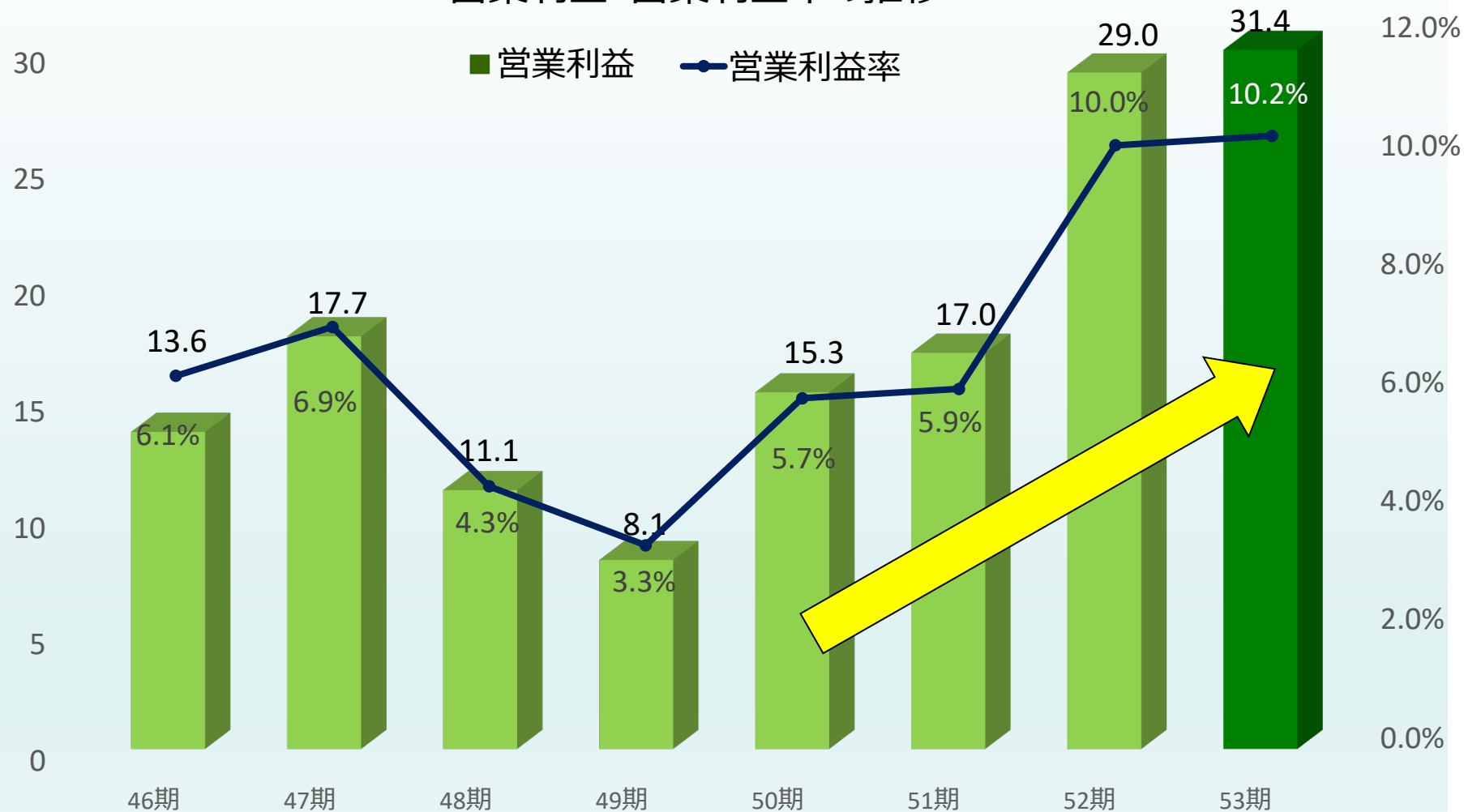


# 連結業績・配当の推移（営業利益）

(億円)

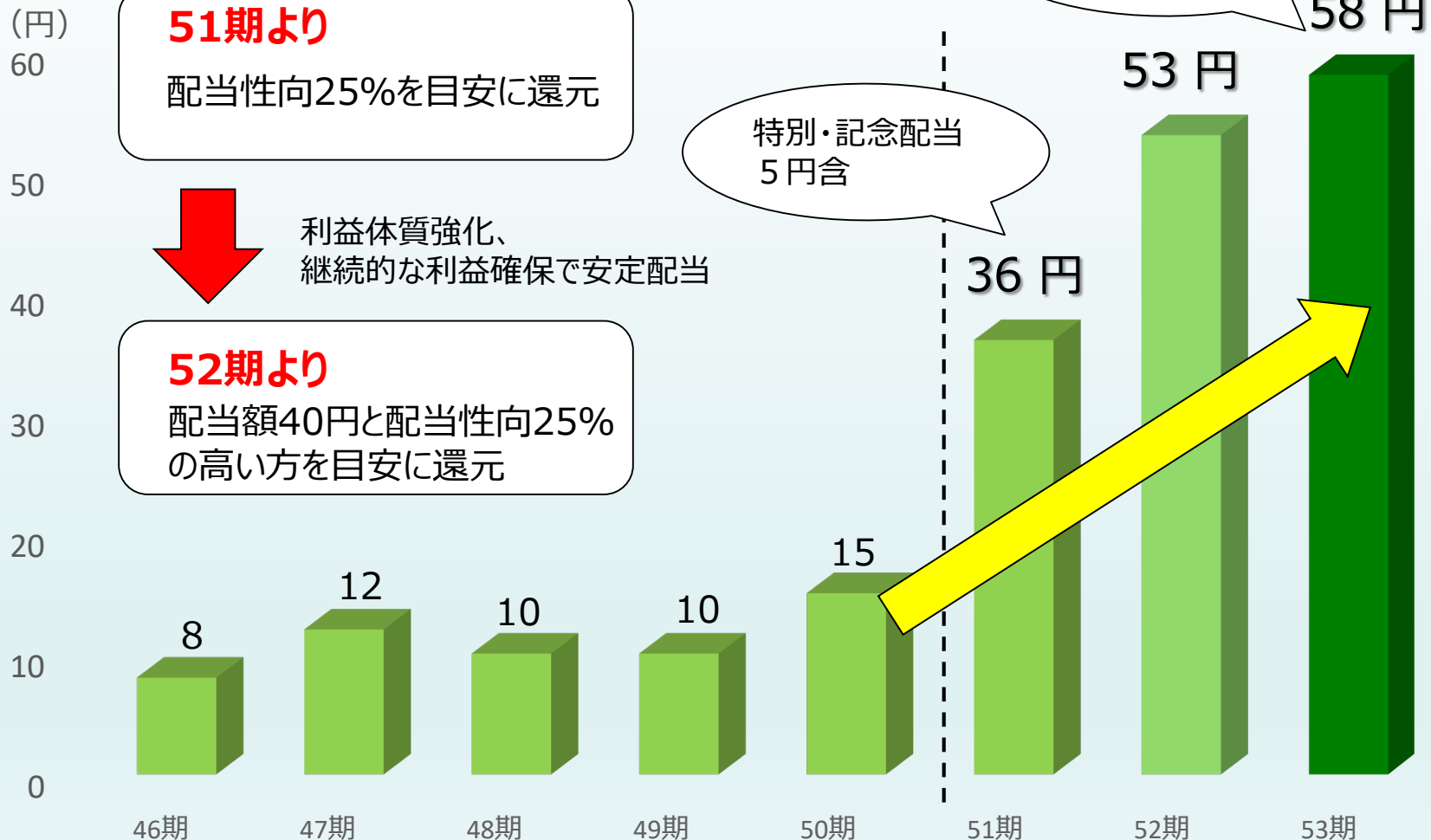
## 営業利益・営業利益率の推移

■ 営業利益    ● 営業利益率



# 連結業績・配当の推移（配当）

## 1株当たり配当額の推移




\*株価1,295円（11月10日終値）にて算出

# 持株会社移行のご案内

弊社は、2020年9月18日の取締役会において、株主総会の承認及び必要な関係当局の認可等が得られることを前提として、2021年10月を目途に持株会社体制へ移行することについて、決議・承認いたしました。

その後、検討を継続し、同11月24日の取締役会において、12月18日に開催される定時株主総会において持株会社体制に移行するための議案「株式移転計画承認の件」（第2号議案）を上程することについて、決議・承認いたしました。

  
2020年9月18日

各位

会社名 株式会社 長 大  
代表者名 代表取締役社長 永治 泰司  
(東証第一部 コード番 9624)  
問合せ先 取締役上席執行役員 塩釜 浩之  
経営企画本部長 (TEL 03-3639-3301)

**持株会社体制への移行の検討開始に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、株主総会の承認及び必要な関係当局の認可等が得られることを前提として、持株会社体制への移行について検討開始することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

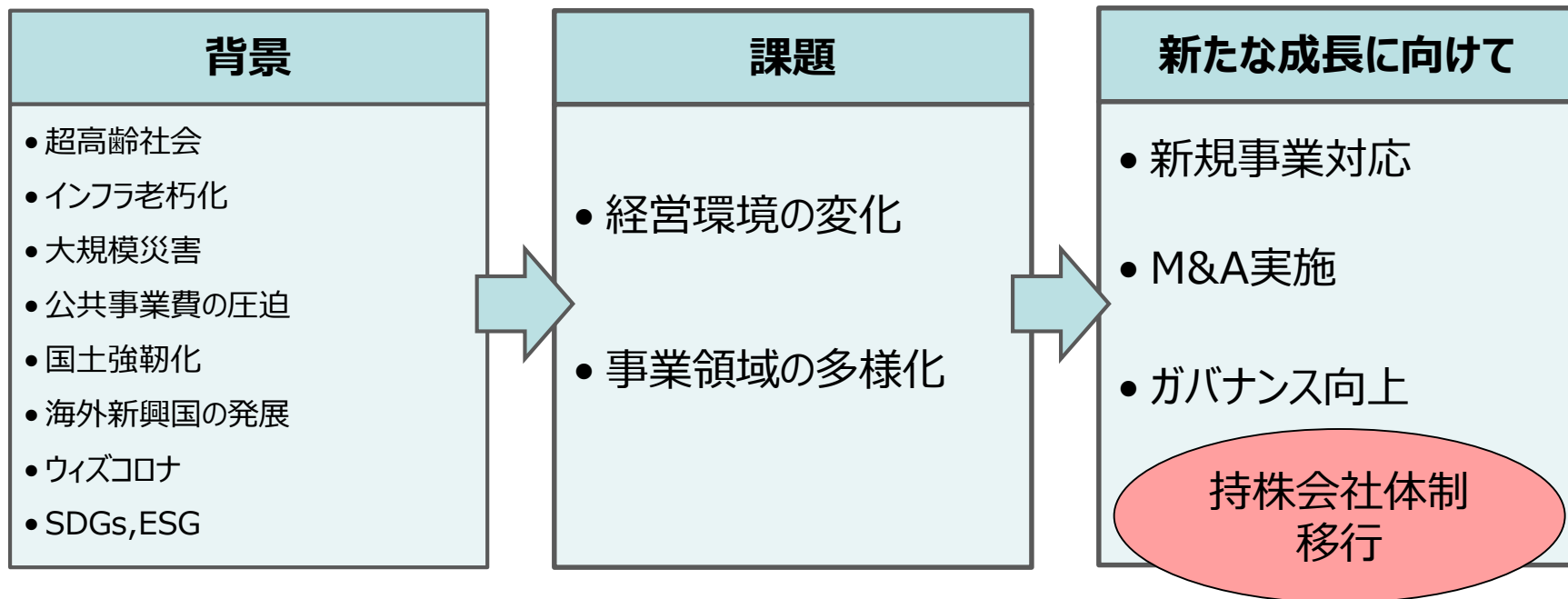
記

1. 持株会社体制への移行の背景と目的  
当社は、瀬戸大橋の実現を夢見た技術者たちが、「技術力を第一とする本来のコンサルタント」となることを目指して、「中立公正」を旗印として1968年に創業いたしました。それから50年余を隔てた今、当社は世界最高峰の橋梁設計技術を活かした総合建設コンサルタントグループに成長いたしました。  
しかしながら、創業100年に至る次なる50年の経営環境はこれまでとは全く異なります。国内では超高齢化社会に対応した新たな国土づくり、安心して暮らせるまちづくりに加えて、これらを支えるインフラの老朽化対策をはじめ、近年頻発する大規模災害への対応やこれらへの備えとしての国土強靱化への対応などが求められます。その一方で、社会保障費の増加により公共事業の財源が圧迫されることから、IT技術を活用したインフラサービスの高度化や効率化が必要不可欠です。またモビリティや情報プラットフォーム等を含めたハード/ソフトのインフラサービスにおける民間企業の役割がこれまで以上に拡大していきます。他方、海外ではアジアを中心とする新興国の成長により、膨大なインフラ需要が予測される一方で、急速な経済開発に伴う二酸化炭素排出量増加や環境汚染への対応など、先進国と新興国の協力を通じた持続可能な開発が求められます。  
このように今後、当社に対する社会からのニーズや期待、また果たすべき責務が多様化、複雑化する中、更にウイズコロナ、そしてアフターコロナの時代まで見据えますと、取り巻く経営環境や向かうべき事業フィールドは大きく変わり、そして無限に広がっていきます。これまでにないこの大きな変化にも柔軟に、かつしなやかに対応しながら、地域や社会の安全・安心の実現と当社グループの企業価値の向上を図るために、当社は自ら変革する組織として成長する必要があります。  
ここに、グループガバナンスを一層強化しつつ、新規事業や M&A を通じて事業軸を拡大していくなど、新たなグループ経営形態への進化が必要であると考え、今後、持株会社体制への移行について検討を開始することいたしました。
2. 持株会社体制への移行の時期・方法  
今後、株主総会の承認及び必要な関係当局の認可等が得られることを前提として、2021年10月を目途に持株会社体制へ移行することについて検討を進めてまいります。  
なお、持株会社体制への移行に関する日程や方法等の詳細については、決定次第、改めてお知らせいたします。

以上



# 持株会社化の背景、目的、持株会社概要



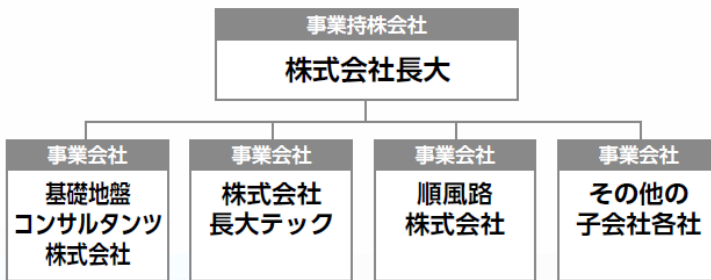
持株会社概要	
商号	人・夢・技術グループ株式会社
所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号
代表者	代表取締役社長 永治泰司

持株会社が（株）長大を含む連結子会社の株式を取得

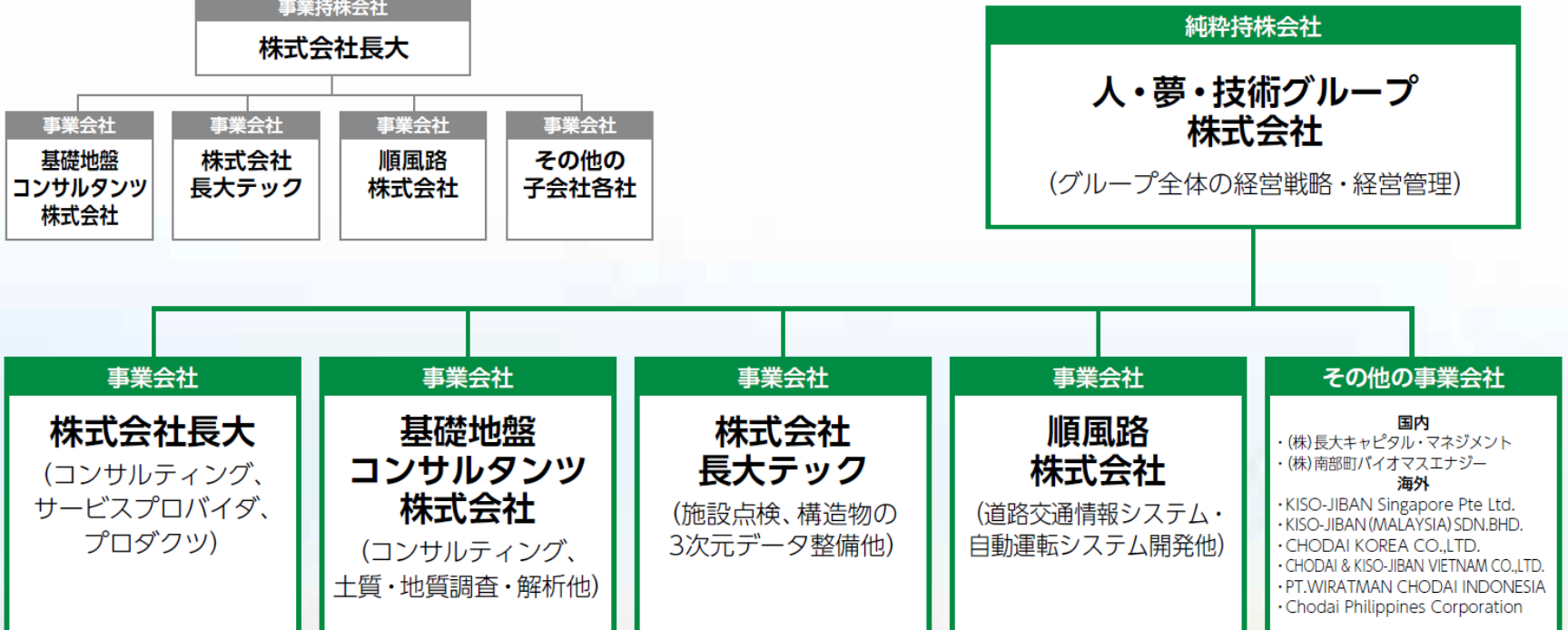
# 持株会社体制におけるグループのストラクチャー

## グループ体制

### ● 現状のグループ体制



### ● 持株会社後のグループ体制



ご視聴ありがとうございました。

チャットボックスにて  
ご質問をお受けしています。



株式会社 大 長

人・夢・技術

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。  
本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。  
本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。  
本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。  
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。